

大手損保の保険金不払い件数と金額

	件数	金額(円)
東京海上日動	17,000	—
損保ジャパン	27,296	9億1742万
三井住友海上	24,000	13億
あいおい損保	29,526	10億4142万
日本興亜損保	22,087	7億8257万

〔注〕東京海上日動と三井住友海上は概算。東京海上日動の不払い額は調査中で非公表。損保ジャパンは追加支払い見込み総額。あいおいと日本興亜の不払い額は追加支払い済み額

# 損保不払い40億円超す

## 大手5社で計12万件に

損害保険会社の保険金不払い問題で、大手5社が過去3年間に契約上払うべきなのに支払っていない件数が計約12万件、金額では計40億円を上回る見通しになった。あいおい、日本興亜両損保が6日、調査内容を発表し、三井住友海上火災保険も調査途中の数値を公表。大半が自動車保険

だが、1件で1千万円を超す不払いも発覚し、さまざまな体制を長年放置した経営責任も問われそうだ。あいおいは2万9526件、10億4142万円。事故車の運搬費など1件あたり10万円以下が96%だが、事故に遭った契約者の車の同乗者が重度障害を負い、「人身傷

害保険」による約4900万円が同乗者に支払われたが、同時に支払われるべきだった同乗者向けの「搭乗者傷害保険」による1370万円は不払いという事例があった。支払い担当者間の連絡不備によるものだったとしている。日本興亜は2万2087件、7億8257万円。

三井住友は調査進捗75%の段階で、1万8386件、10億3200万円。単純推計だと、全体では2万4千件、13億円超に上る見通しだ。

東京海上日動火災は現時点では件数だけの公表で約1万7千件。5日発表の損保ジャパン(2万

7296件、9億1742万円)を加えると、大手5社で12万件を超え、不払い額は40億円以上になりそうだ。車運搬費のほか、代車費、事故相手への見舞い費など1件単位では低額だが、全体では大きく膨らんだ。

三井住友以外の各社は、すでに不払い事例の9割以上で遅延損害金を加えた追加払いを済ませたという。